

雨水処理設備の準備状況について

平成26年2月27日
東京電力株式会社



東京電力

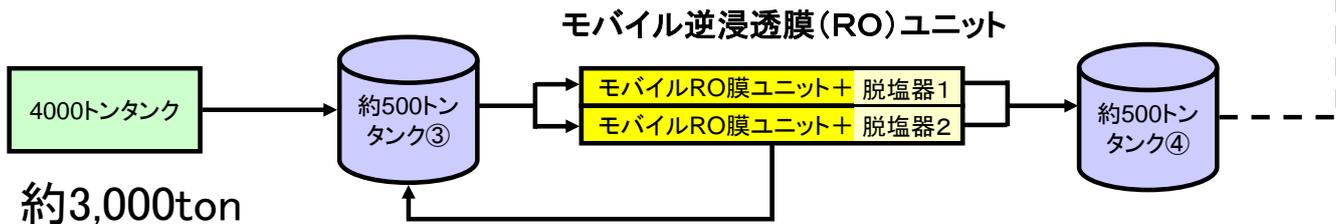
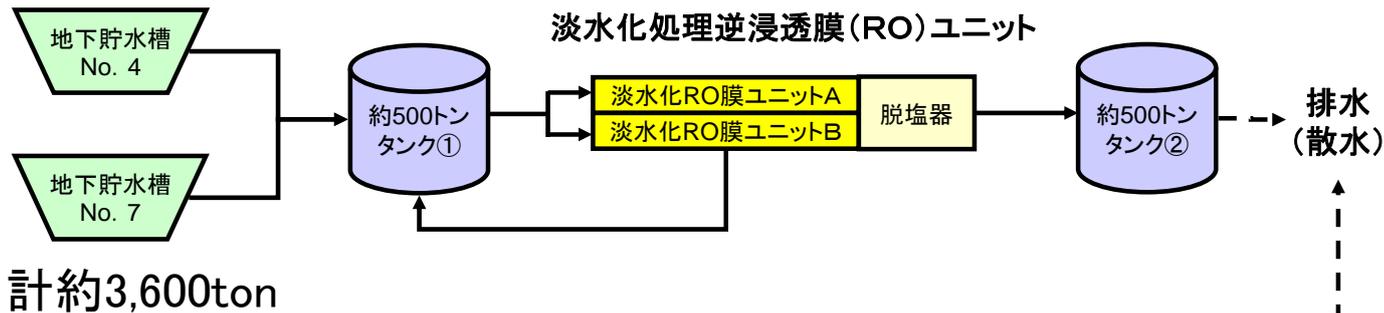
1

一時貯留している雨水の処理について

- ✓ 汚染水タンクエリアの堰内に溜まった雨水のうち、その放射能濃度が排水基準を上回るものについては、一時的に、近傍に設置された地下貯水槽（No.4, No.7）および鋼製角型タンクに貯留している。
- ✓ この貯留している雨水については、含まれている放射性核種を排水基準以下にするまで除去し、貯留量の低減を図ることが急務であると考えている。
- ✓ そこで、実雨水を用いたRO装置による浄化試験を実施した結果、十分な処理能力が得られた（平成25年11～12月）
- ✓ 平成26年1月21日に当該実施計画を申請。
- ✓ 現状一時貯留している雨水を実施計画認可及び使用前検査終了の後、当該設備で処理して排水していく計画。また、今後発生するタンク堰内の雨水は汚染が生じにくいように、床面塗装などを行うとともに、汚染が確認された場合は当該設備にて処理を行う。

雨水処理設備等 系統概要

雨水処理設備は、2種類の逆浸透膜（RO）ユニットを有する。



信頼性向上のため、設備に対して以下の補強対策を実施

- 500トンタンク：タンク底面コーキング，堰設置，水位計設置
- RO装置本体：堰設置，漏えい検出器設置
- 配管：PE管化



東京電力

雨水処理設備等 配置概要他



【処理対象水の量及び濃度】 【単位：Bq/L】

	貯水量	Cs-134	Cs-137	Sr-90
No. 4地下貯水槽	約1,500t	ND (<12)	ND (<18)	470
No. 7地下貯水槽	約2,100t	ND (<13)	ND (<18)	99
4000トンノッチタンク	約3,000t	ND (<13)	19	2100

(H26年1月現在)



東京電力

事前性能確認結果

いずれの核種においても、十分な除去性能を有することを確認

淡水化処理逆浸透膜 (RO) ユニット

単位: Bq/リットル

	原水(雨水)	RO処理水A	RO処理水B	脱塩処理水
Cs-137	31	ND(<8)	ND(<8)	ND(<8)
Cs-134	17	ND(<6)	ND(<6)	ND(<6)
Sb-125	41	ND	ND	ND
Sr-90	11000※	20	14	ND(<2.2)

モバイル逆浸透膜 (RO) ユニット

単位: Bq/リットル

採取場所	装置1		装置2	
	原水(雨水)	脱塩処理水	原水(雨水)	脱塩処理水
Cs-137	ND(<18)	ND(<18)	20	ND(<14)
Cs-134	ND(<13)	ND(<12)	ND(<11)	ND(<10)
Sb-125	23	ND	ND	ND
Sr-90	4000	ND(<2.4)	4700	ND(<2.4)



※ ROユニット内に含まれていた残水の影響により、一時的に高い濃度が検出されたものと考えられる

【参考】雨水処理設備概要

